

答

港湾施設を整備する上で最初に行うべきこととして、その港湾施設が港湾計画に位置付けられていることが必要である。

今後、西条地区に必要とされる新しい岸壁や防波堤、航路泊地などの整備、既存の航路泊地の維持浚渫、新たな埋立地の建設推進などを関係企業と協力し、計画の準備段階の調査をじゅうぶんに行い、港湾計画変更の必要性について確認を行った上で、港湾管理者である愛媛県に対し、早期に働きかけを行っていきたい。

なお、東ひうちの今治造船株式会社敷地内に計画されている公共埠頭用地の整備については、新たな埋立地に位置付けすることを考えている。

また、港湾計画を改訂する際には、緑地、あるいは海浜レクリエーションゾーンなどの配置について、未整備箇所も含めて、愛媛県と協議しながら前向きに検討していきたい。



井上 浩 二議員



- (議案質疑)
- 1 西条東部地域交流センター及び東予南地域交流センター並びに総合福祉センター管理運営事業について
 - 1 (一般質問)
 - 1 合併処理浄化槽について
 - 2 家庭系ごみの収集について
 - 3 道前クリーンセンターについて

補助金額の見直しを！ 浄化槽維持管理費補助金

問

合併処理浄化槽維持管理費補助金は、10人槽以下の合併処理浄化槽1基に対して10年間、毎年度1万円を補助しているが、期限を撤廃し、浄化槽の大きさによって補助金額を変えるよう改めて

考えはないか。



合併処理浄化槽保守点検の様子

答

合併処理浄化槽維持管理費補助金は、浄化槽の適正な維持管理を促進して、生活排水による水質汚濁を防止し、公共下水道との維持管理費の格差是正を図るため、平成29年度に新設した制度である。公共下水道の供用開始区域外に設置されている10人槽以下の家庭用合併処理浄化槽については、年1回の法定検査や清掃、保守点検などが義務付けられていることから、これらに要する費用に対して助成している。

この補助金は、全庁的に補助金制度を見直した後に設置したため、助成の必要性を定

期的に継続して検証する必要があることから、10年間の期限を設けているものであり、今後、定期的に見直しを行うこととしている。

補助金額については、この補助制度を検討した際、浄化槽の維持管理にかかる費用と下水道使用料を比較したところ、利用人数の違いにより発生する費用に大きな差が見られなかったことから妥当であると考えているが、今後も実態の把握に努め、見直しの必要性を検討していきたい。

黒川 理恵子 議員



- (一般質問)
- 1 西条図書館について
 - 2 「いのちの授業」について

全ての中学生に 「いのちの授業」を！

問

「いのちの授業」は、愛媛県の事業として過去に3校で実施されていたが、モデル事業であったため、平成28年度をもって終了している。「いのちの授業」では、

赤ちゃん連れの親子が中学校を訪れ、中学生が赤ちゃんと直接触れ合い、感想を述べたり質問したりすることによって、子どもを育てていくためには何が必要かなどを話し合っている。こうした取組によって、命の大切さや自尊心を育むだけでなく、自分の将来にも目を向けるきっかけとなることから、全ての中学生に対して均等かつ継続的に「いのちの授業」を受ける機会があればよいと思うが、どのように考えているのか。



いのちの授業で乳幼児と触れ合う生徒(西条南中学校)